

教材名	掴まないで押す金槌		
部門・学部	肢体不自由教育部門・高等部		
対象学年	全学年	教科	美術
ねらい	握れない、握力が弱い、可動域が限られている等手を動かすことが難しい生徒が自分の力で釘を打つことができる。		
使い方	釘を木に軽く刺し、その真上に金槌をセットする。生徒の手を持ち手の部分に誘導し、乗ることで力を加え、金槌を動かす。		
作り方・工夫点	<ul style="list-style-type: none"> 技能職員さんに依頼をして、木材を組み合わせて作成していただいた。 強力な「ばね」を支点にすることで、少しの力で金槌を動かせるように工夫した。 		
効果・改善点	肢体不自由教育部門のほとんどの生徒が、自分の手を使って釘を打ち、木工作品を完成させることができ、生徒は達成感を感じることができたと考えられる。		

